

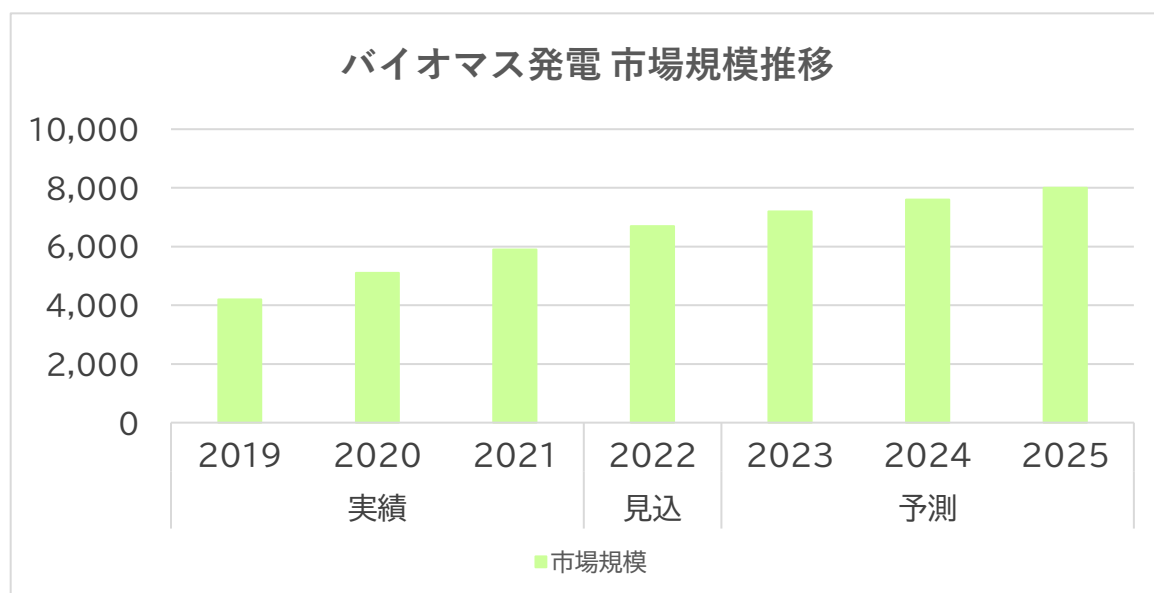
2023年6月7日  
株式会社SVPジャパン

## SVP注目市場分析「バイオマス発電事業」を公開

～木材などの生物資源を利用し、カーボンニュートラルを実現する技術として注目～

会員企業に対して公開情報を用いたビジネス情報提供を行う、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポートの「バイオマス発電事業 -国内市場の現状と将来展望-」について会員企業向けに公開いたしました。

### ■ バイオマス発電事業の国内市場



バイオマス発電事業の市場規模は、2022年度の見込みとして6,700億円と推定される（バイオマス発電による事業者の売電収入の総計として推定）。なお、FIT制度を利用した売上が100%近くを占める。

市場規模の推移としては、年率二桁増の高い成長率で推移が続いており、特に2020年度～2022年度まで高い成長率となった。今後は、これまでに比べ市場拡大の成長率は低下するが、年間5%以上のペースでの成長が続く見込みとなっている。

## ■ バイオマス発電事業の市場概況

- ・バイオマス発電は元々、廃棄物処理の一環などとして行われてきた発電であり、大規模な発電では燃料の調達が安定しないことや、設備のコストが高く、採算性が悪いことから、商業的な発電は普及していなかった。
- ・2012年にバイオマス発電がFIT制度の対象となり、電力の固定価格買い取りが開始され、売電事業の採算がとれるようになったことで、以後、急速に導入が進んだ。
- ・約10年間で、全国で500カ所以上のバイオマス発電所が新たに稼働している。
- ・また、同制度で認定されたバイオマス発電所の事業計画をみると、2022年9月時点で、未稼働を含む計画が約890件、うち、稼働したものが約560件となっており、今後も営業運転が開始する発電所の増加が続く見通しである。



バイオマス発電



動植物などの生物資源（バイオマス）をエネルギー源にして発電します。木質バイオマス、農作物残さ、食品廃棄物など様々な資源をエネルギーに変換します。

**強み**

- 資源の有効活用で廃棄物の削減に貢献。
- 天候などに左右されにくい。

**課題**

- 原料の安定供給の確保や、原料の収集、運搬、管理にコストがかかる。

出典:「なつく！再生可能エネルギーFIT・FIP制度」資源エネルギー庁

[https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving\\_and\\_new/saiene/kaitori/surcharge.html](https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/kaitori/surcharge.html)

## ■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造

## ■ 本レポートの購読について

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

ご希望の場合は、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購読いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

お問い合わせは、こちらをクリック



資料請求

お問い合わせ

SVP会員の方は、こちらをクリック



会員サイト

## ■ 次回のテーマ

7月のテーマは、「次世代自動車」と「再生医療・細胞治療製品」です。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール・・・毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

## [会社概要]

社名： 株式会社SVPジャパン  
代表取締役： 橋本 雅  
所在地： 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F  
設立年月日： 1974年7月1日  
事業内容： 会員制のビジネス情報提供サービス  
URL： <https://www.svpjapan.com/>

## [本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン デジタルマーケティング部  
[info@svpjapan.com](mailto:info@svpjapan.com)